

教科または領域		算数
対象学年		小学校3年生
授業場所		教室
単元		長さをはかろう
単元の目標		長いものの長さの測定を通して、長さの概念について理解を深めるとともに、目的に応じて単位や計器を適切に選択して測定する能力を身につける。
単元の指導計画		<p>第1次 巻き尺の使い方とその有用性を理解する。</p> <p>第2次 長さを表す単位「キロメートル (km)」および道のりや距離の意味を理解する。</p> <p>第3次 外的な活動を通して学習内容の理解を深め、長さについての興味を広げる。</p>
本時のねらい		走り幅跳びでとんだ長さをはかるには、巻き尺を使ったら便利なことを知る。
指導計画	導入	<p>(1) 本時の課題をつかむ。</p> <p>走り幅跳びで跳んだ長さを測るには、どうして測ればよいかを考える。</p> <p>既習内容をもとに考えさせる。(1メートルさし、物差しなど)</p>
	展開	<p>(2) 考えた測り方を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物差しを使ったら、何度も継ぎ足さなければいけないことや、曲がって測ってしまうことがあることに気づく。 ・巻き尺を使って測ると便利なことを知る。 ・巻き尺の目盛りの読み方、巻き尺の有用性を知る。
	まとめ	<p>(3) 巻き尺を使った測り方のよさに気づき、目盛りの読み方を練習する。</p>
<p>その他：</p> <p>本単元では、走り幅跳びで跳んだ長さを測定する場面をパソコン、プロジェクタを用いて教室で児童に提示した。そうすることによって、教室にいながらにして巻き尺で測る有用性を、児童に、視覚的にも提示することができたと思う。また、目盛りの読み方もパソコンで提示することにより、板書するよりもきれいに何種類もの目盛りを提示することができたと思う。</p>		